

松戸里やま応援団 いいなの会 大作の森

2025. 10. 20 活動報告会

里やま 18 名、メンバー 11 名

活動日: 第 1 木・第 3 月・第 4 土

代表: 測上和宏



11 大作の森

松戸里やま
応援団 【いいなの会】

みのり台駅北口から徒歩 10 分
位置情報 35.79478, 139.92980
活動日: 第 1 (木)・第 3 (月)
連絡先: 090-6026-5428 測上 和宏

「21 世紀の森と広場」から続く樹林帯の西南端に位置し、住宅地に囲まれた、7600 m²の広さの私有の森です。2021 年 5 月から森の整備作業をしています。

植生は、森の中間層（比較的高い木）に常緑樹のシラカシ、シロダモ等が多くある一方、低い木もアオキ、ヤツデ等日の当たらない所に育つ樹種が多くを占めています。森の整備が進むにつれて、暗い感じの森から、光が差し込む森にだんだんと変わっています。今後、さらに多様性に富んで、森の公開日には近隣の方をはじめ多くの方楽しんでいただけるような森をめざして、楽しく整備を進めています。



多様性に富む森をめざして

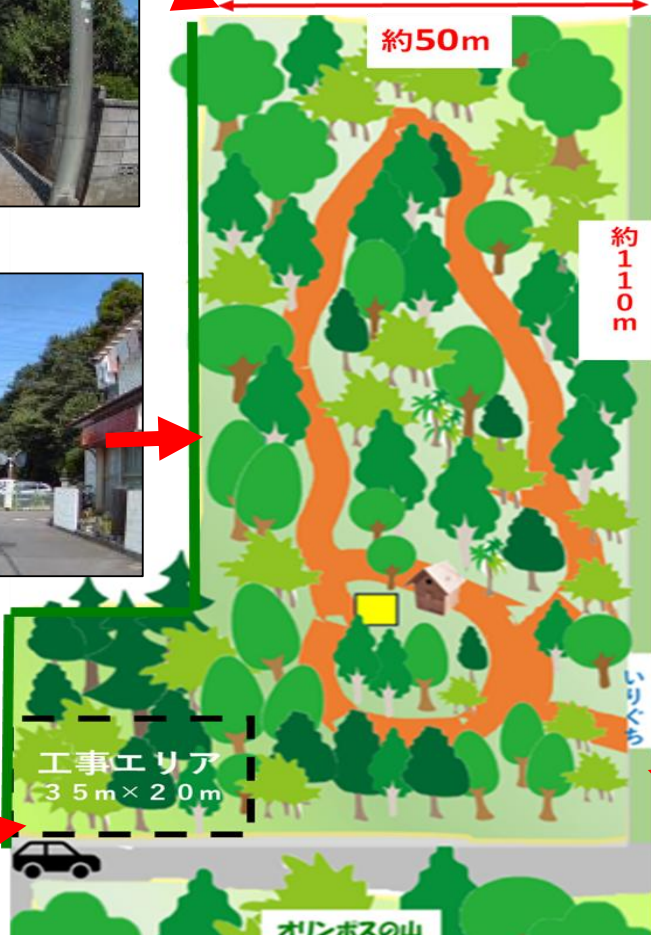
いいなの会 11 名

松戸里山応援団

いいなの会

大作の森 活動報告

2025年10月20日(月) 10:00~11:30



OFクラフト
ビンゴゲーム



住宅地



いいなの会 代表 洲上和宏 メンバー11名(2025.10.20現在)

いいなの会 立ち上げ 2019. 12

大作の森 活動開始 2021. 4~

活動日 第1木曜日 第3月曜日 試行:第4土曜日(2025.10~)

いいなの会 紹介

入門講座17期(2019年)受講生が立ち上げ

⇒コロナ禍で森の決定に時間を要し、活動開始が遅くなった

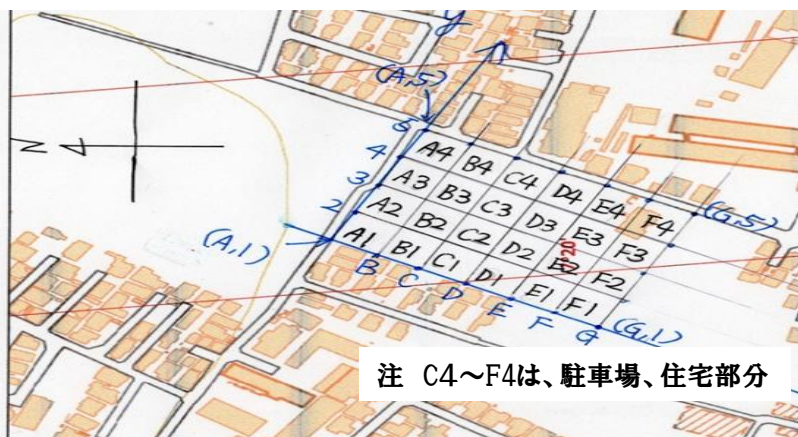
その後、会員の加入もあり、楽しく、主体的に活動中

大作の森の自然環境

(樹木調査 2021年～2025年)

大作の森樹木調査結果(各区画における、常緑樹の占める割合)

	A4		B4		本数:常緑樹と落葉樹合計の数 調査期間:2021年秋～2025年秋 調査総本数:1531本 1区画:20m×20m 調査対象:樹高1.5m以上の樹木全部(ササは除く)							
	本数	常緑比	本数	常緑比								
高木層	6	83%	4	50%								
亜高木層	15	60%	20	50%								
低木層	14	93%	37	83%								
合計	35		61		C3		D3		E3		F3	
	A3		B3		本数	常緑比	本数	常緑比	本数	常緑比	本数	常緑比
高木層	19	44%	11	36%	9	67%	19	42%	8	25%	12	0%
亜高木層	43	80%	57	88%	24	77%	30	79%	13	92%	18	78%
低木層	34	97%	56	91%	49	94%	44	95%	31	87%	33	84%
合計	96		124		82		93		52		63	
	A2		B2		C2		D2		E2		F2	
高木層	15	20%	7	29%	14	43%	11	100%	13	25%	7	67%
亜高木層	24	83%	31	90%	27	93%	23	82%	19	100%	6	100%
低木層	52	87%	47	94%	39	97%	44	89%	52	96%	23	83%
合計	91		85		80		78		84		36	
	A1		B1		C1		D1		E1F1		総合計	
高木層	12	17%	8	50%	14	50%	10	22%	13	25%	212	
亜高木層	8	50%	28	96%	19	95%	32	97%	25	92%	462	
低木層	24	88%	33	88%	31	94%	51	100%	163	53%	857	
合計	44		69		64		93		201		1531	



注 C4～F4は、駐車場、住宅部分

大作の森でよくみられる樹木

常緑樹	落葉樹
シラカシ	ミズキ
シロダモ	ムクノキ
アオキ	

調査結果からの検討案

♣ 現在の大作の森

常緑樹が、高木層に 40%、亜高木層に 80%、低木層に 90%とみられる

亜高木層と低木層に常緑樹が多いため、林床の照度は低く、落葉樹や草本類の種類数が少ない

下図では、大作の森は「混交林」のステージである。

♣ これからの大作の森

植生の遷移が進み（混交林から陰樹林へ）、各層ともにさらに常緑樹が増えていき、

林床がさらに暗くなる。

樹木・草本の種類数がさらに減っていく（生物多様性が下がる）

♣ いいなの会の森の整備計画

生物の種類数が多い森づくりを目指すため、常緑樹を伐倒して落葉樹の多い森を作る。

ただし、林内の環境の安定化のために、林縁の常緑樹は残しておく。

具体的には伐倒する区域は、遊歩道の内側とする。

整備の順番は

① 亜高木層の常緑樹を伐倒する。

② 低木層の常緑樹を伐倒する。

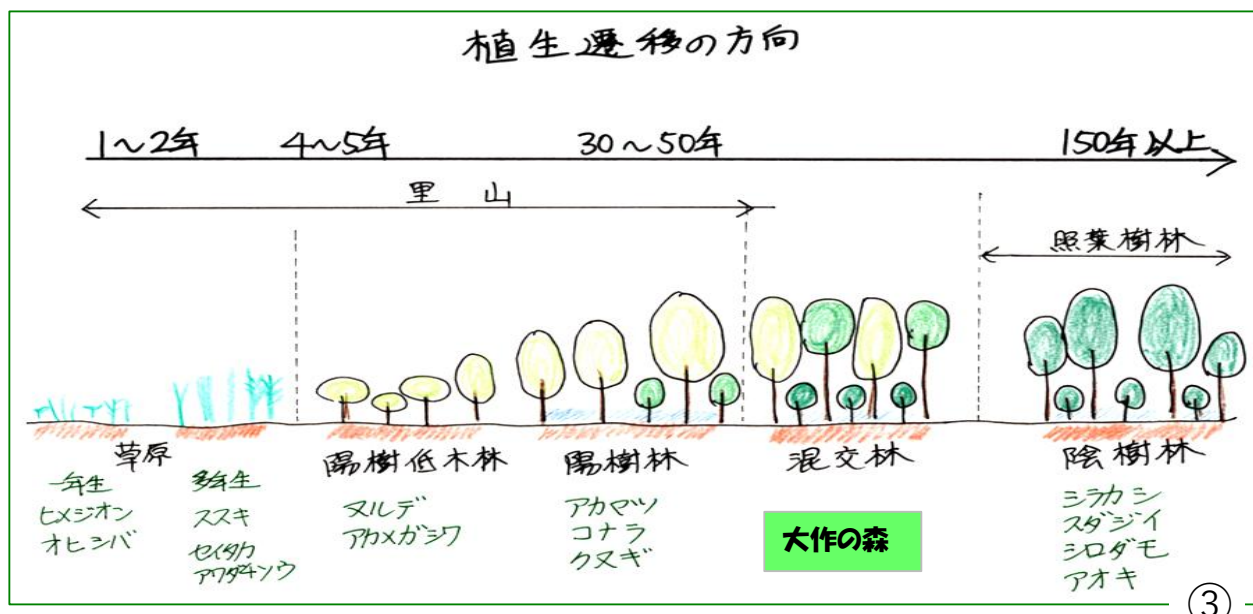
伐倒した木は、林内においておく。（昆虫や菌類を多くするため）

③ 落葉樹の苗（コナラ、ムクノキ、エゴノキ、ミズキ、エノキ）を作り、伐倒した跡に移植する。

④ 森の境界に、

・チョウ類の食草である植物を移植する。（オミナエシ、フジバカマ、カラムシ、など）

・鳥類の餌となる実のなる木（サンショウ、ビワなど）を植える。



大作の森の社会環境

市街化区域の森整備

大作の森（以下森という）は京成松戸線「みのり台駅」から北へ直線距離約600mに位置し、東側は4m道路を挟み戸建住宅・保育園、西側は境界を接し戸建住宅、南側は空地を挟み戸建住宅、北側は約3.8mの市道を挟みオリンポスの山の森が存し、ほぼ住宅に囲まれた森である。

（なお、令和7年6月、北東の一部約700㎡（面積の約1割）が下水道工事及び道路拡幅整備のため対象地から除外：詳細は別途説明）

里やま応援団の森は市街化調整区域（※1）が多いが、当森は都市計画法上の第一種住居地域（※2）に指定されている。また森の中を松戸都市計画道路が計画決定されている。

このような住居地域に存することの問題点

- ＊隣地・隣家の日照不足＊樹木の越境、落ち葉、枯れ枝、雑草の処理＊森が薄暗く見通しの悪化による防犯上の問題＊騒音の問題がありチェンソー、刈払い機等の使用が出来ない
- ＊関係者以外の森への無断侵入＊水場、トイレが森内にない

対策

- ＊倒木が心配される大木は行政と協力し伐採、＊越境樹木、枯れ枝、落ち葉はできるだけその都度処理し樹木の過密化を避ける。＊周辺部のごみの清掃。＊近隣住民とのコミュニケーションを図る。

○当森周辺は最寄駅からの利便性良く、住宅地として開発も見込める圏域であるが、地権者、近隣住民、行政の協力を得ながら貴重な森を保護していきたい。災害時の防火帯、避難場所とも考えられる。

（※1）開発行為は原則行われず、新たな建築物等を建てたりすることを極力抑える区域

（※2）用途地域の一つで、住居等の環境を保護するための地域

活動の基本的考え方

【目的】

手つかずであった森の自然環境を活かしつつ、森を取り巻く社会環境にも配慮して、大作の森らしい価値を生み出していく。

（自然環境）

- 自然環境を把握するために、植生調査や生態系の観察を行う。
- 住宅地という立地環境を配慮して、景観にも留意する。
- 森の安全を確保する。（関係者以外の無断侵入防止等）

（社会環境）

- 近隣住民の方と良好な関係を築く。（理解してもらう）
 - ・積極的情報提供（町会への情報提供、近隣住民との会話、掲示板、チラシ等）
 - ・オープンフォレスト参加
 - ・森の周辺を整備する。
- 関係者（オリンポスの山の会、里やま応援団等）との相互協力を行う

（活動の進め方）

- 各自が主体的に、安全に、楽しく活動する。
- 住宅境界での作業や機械音の発生する作業は、近隣住宅への影響を考慮する。

活動・成果-課題

大作の森の現在までの活動の成果と課題

「いいなの会」が大作の森で活動を始めて4年半になる。大作の森は、住宅に囲まれて、当初は薄暗くて、道路側には落葉が散らかり、投げ込まれたゴミが放置された状態だった。近隣からは、暗くて気味が悪い森と受け止められていたようだ。

活動は、まずはゴミの撤去、下草刈りから始めて、森内の枯木、危険木の除去、低木の剪定、通路の設置を進めた。併せて、町内会を通じて近隣住宅に当会の活動を知らせた。

まだ進行中だが、ゴミの放置が少なくなり、光が差し込む明るい森になってきている。

普段は関係者以外は立ち入れないが、オープンフォレストでは近隣住民の参加も見られ、地域に受け入れられている。

今後、住宅地域の森や樹木相などの特性を踏まえた、活動を進める。

2025年9月からの下水道工事のために、樹木が伐採され、整地された。このことへの対応も課題である。

おもな活動と成果・課題

項目	活動と成果	課題
森の内部	<ul style="list-style-type: none"> ・低木の処理⇒アオキ・笹の除去で森が明るくなった ・危険木・枯木の処理⇒目につくものが無くなった ・通路の整備⇒散策路が確保された ・ビオネストの設置⇒枯れ枝、落葉集積 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、危険木・枯れ枝を処理する ・高所の枯れ枝を処理する
森の周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・下草、落葉・落ち枝の収集 ・枝切り(特に駐車場) ⇒はみだし枝が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、対応していく ・高枝切りはさみなどで高所のはみだし枝を処理する
ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> ・投げ込まれた生活ゴミなど収集・処分 ⇒集積所を設置。ゴミが少なくなった ・ドラム缶やテレビ、バッテリーなど回収 ⇒市の回収へつないだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に外周のゴミを除去し、ゴミを捨てにくくする ・溜めたゴミ処分を検討する。
近隣対応	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの町会などへの配布、オープンフォレスト(OF)のPR ・掲示板に活動報告掲示 ⇒掲示板を大きくした 	<ul style="list-style-type: none"> ・外周落葉の散乱・騒音防止に留意する
活動の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木調査を行った ・機材の整備 ⇒高枝切り、大鋸、鶴嘴などの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・森の将来像を作る

年間主要活動(2024活動から)

- 4月 危険木伐採、掛枝処理 オープンフォレスト(OF)準備 シュロ駆除
- 5月 森外周、散策路整備 掛枝処理 OFクラフト試作 OF実施
- 6月 森外周草刈り 樹木調査区画整理 総会
- 7月 道路張り出し枝剪定 森外周草刈り サマータイム(~9月 9:30~11:30)
- 8月 駐車場張り出し枝剪定 笹、シュロ処理、住宅面草刈り 樹木調査
- 9月 枯木伐倒 道路、住宅面草刈り 樹木調査
- 10月 駐車場張り出し枝剪定 入門講座見学受け入れ
- 11月 伐倒・枝払い確認と整備 掛枝処理 ごみ回収 樹木調査
- 12月 全員で危険木状況確認 外周落ち葉収集 森周辺ごみ収集
- 1月 駐車場張り出し大枝切 林内倒木整備 周辺落葉収集
- 2月 強風による被害チェック、掛枝、落枝整理 散策路整備 危険木確認
- 3月 剪定枝整理 樹木名板作成 周辺ごみ収集

様々な出来事

2019年12月、いいなの会を立ち上げ、1年ほど活動する森を探したが、コロナ禍の最中であり、思うように進められなかった。それでも、み花課から提示のあった森の見学を行い、大作の森に決めることができた。コロナ禍にもめげず、頑張ってたかった。

2021年6月頃、近隣の方から、この森にはマムシがいる、と言われ、森の掲示板にマムシ注意の紙が貼られていた。マムシのことが気になっているが、まだ、マムシを見ていない。

2021年9月頃、周囲住民から、森の通学路沿いの草刈りや住宅の雨樋に木の葉がつまらない様
屋根近くまで伸びている枝を切り落としてほしいとの要望を受け実施。

近隣住民の方とコミュニケーションを図ろうと、いいなの会活動に関するアンケート用紙を、近隣に投函したが、このことに近隣町会長からクレームがあり、近隣4町会の会長と話し合いを行った。その結果、いいな会で作成したチラシを、町会の掲示板に掲示させてもらえることになった。

2021年10月 樹木調査始まる。どんな樹木が生えているのだろうか。

2023年5月 活動を開始して約2年、コロナで常にマスクをしての作業だったが、ようやくコロナ対応解除。
手造りテーブルを囲み、初のいいなの会ランチ会開催、楽しいひと時であった。

2023年10月 近隣住民に迷惑をかけないことを最優先に、機械類を極力使用せず、倒木の玉切り作業も
ノコギリで4人がかり。体力も時間もかかるがちょっとした達成感も味わう。

2024年7月 1m超えアオダイショウが森の中を進んでいるのを発見。しっぽをつかむと頭部を膨らま
せて威嚇。ちょっとびびって手を放す。あの立派なアオダイショウは大作の森の守り神に違いない。
大作の森は生物多様に富んだ森と言える。

2025年9月 「樹木調査」は、20m×20mを1区画とし4年をかけて20区画の調査終了。

サステナブルな「大作の森活動」へ飛躍を目指して

- ・意外と里山活動は知られていない？
- ・何をしているの？誰も入れない？怖いところ？と思われているかも？
⇒ 森の周りに暮らす人へ、もっと知ってもらいたい！！

◆看板・広報板の掲示実施 ※別途 実物ファイルご参照ください。

- ・「大作の森」看板を目立つように巨大化 + 人通りの多い「保育園側」に追加設置
- ・「いいなの会活動記録」大きく・見やすく A4サイズからA3サイズに拡大

◆活動日追加 ・近隣の若手が参加しやすいように、10月より「第4土曜日」も活動日に追加



活動は楽しい！メンバー一言

○歳とともに外に出ず、家にこもるのではないかと、恐れた家族に押されて、いつの間にか5年。目下森の柴刈り爺さん役が務まっています。森の元々の状態や草木の種類、土壌の状態は、と気になることが増えました。今後は頭の活用にも比重をと考える次第です。(SK)

○樹木や植物に詳しい訳ではなく、ましてや昆虫類は苦手な私が、これまで続けられてきたのは、「いいなの会」の素晴らしいメンバーとの活動の達成感があるからです。これからも、自然環境豊かな森を目指して、微力ながら頑張っていきたいと思います。(S0)

○森の自然に触れられる。私には楽しい遊びの時間。四季や環境への対応や、新しい事を教えてもらったり、お話したり、経験が活かされたりと刺激的。もっと森に親しむ人が増えたら嬉しい。(ヨッシー)

○猛暑に汗を流し、北風に手がかじかんでの作業、そんな苦勞も仲間の努力により森も整理されつつある。今後とも貴重な財産である森を楽しみながら次世代に引き継いで行きたい。(NK)

○春夏秋冬を肌で感じられる森の作業は何故か楽しい。コーヒータイムのメンバートークも話題豊富で楽しい。ボランティア活動は自分が楽しいことが第一と思う。大作の森の活動はずっと続けたい。(81)

○大作の森に参加して森という身近にある自然の中で、新しい発見ができる楽しさ、森の中で活動していて、初めて出会える植物や昆虫にワクワクできる環境を作っていきたい。(SK)

○今年の4月にいいなの会に加わったばかりです。右も左も判らない中ですが、森の雰囲気を楽しんでいます。いつまでも、自然が残るこの景観を残していきたいと思います。(NS)

○「軽い気持ちで講座に参加し、会を立ち上げ早5年、取り柄もなく、役にも立たず、何が楽しくて続けて来られたのか。四季の変化の中、植物の盛衰、生き物との遭遇、動物生息の気配等に驚かされて来たからだろう。もっと気付ける眼を育てたい。(YY)

○みんなで協力すれば作業が片付く、ということを実感させてくれる仲間と活動できて、うれしく思います。これからも、よろしくお願いします。(KF)

○「いい汗をかいてみどりの森づくり」(MY)

○1つの森を月に2回、もう5年も観察していることになる。

小さな森であるが、いろいろな生き物たちと出会えたり、季節の森の変化を感じ取ることができて、毎回楽しく、貴重な自然体験をさせてもらっている。(TH)

今後の活動方針と計画

◎大作の森の活動方針

【目標】

植生調査や生態系の観察により、大作の森の自然環境の把握を行ってきた。その結果を基に、大作の森をどのような森にしていくか(大作の森のコンセプト)を検討し、その実現を目指す。

〔整備・保全／利活用 活動方針〕

- ①大作の森のコンセプトについて検討し、その実現に向けて活動する。
特に、下水道工事のための樹木伐採や整地による影響を考慮する
- ②森の美的環境を改善する
- ③森の安全性を向上させる
- ④近隣住民の方との良好な関係を構築する
- ⑤関係者(オリンポスの山の会、里やま応援団等)との相互協力を行う
- ⑥下水道工事の影響をフォローする

〔活動の進め方〕

- ・各自が主体的に、安全に、楽しく活動する。
- ・住宅との境界での作業や機械音の発生する作業は、近隣住宅への影響を考慮する。

◎今後の計画

〔整備・保全／利活用 計画〕

- ①大作の森のコンセプトについて検討
- ②収集したゴミの処置方法検討
- ③無断侵入の防止策の検討
森の安全の確保(危険木・危険枝等の処置、散策路の整備)
- ④森の掲示板の増設
上記以外に通常の整備・保全活動を行う

〔活動の進め方 計画〕

平日に活動に参加することが困難な方が参加しやすいように、毎月第1木曜日、第3月曜日に加え、新たに第4土曜日を活動日とする。